

本日お話をさせていただきます事は「菩提心」についてです。

菩提心とは、佛さまの様な心になる事、そして悪い事をした時は、懺悔して心を新たにします事です。

私達は、色々な事が起きると弱音を吐いたり、疑惑を持ったり愚痴を言ったりと沢山の悪い心を持ちます。

その心を一つ一つきれいにし、最後にはできるだけ悪い心の数を少なくし、悟りを得ようとする事が菩提心をつくる修行だと思えます。

困ったり苦しんでいる方がいらっしゃったら、手を差し伸べたり、優しい言葉をかけたり優しい顔を向ける事です。これが菩提心を育てるための一つの修行であり、大きな修行です。

会主さまも大導師さまもそれを実践された方です。

大導師さまはよく「優しい言葉、優しい顔が大事です」と私達に常々ご指導を下さっておりました。

いろんな場所で厳しいお顔で厳しいご指導をされた事もありましたが、その奥にあるのは優しいお言葉、優しいお顔でした。

嘘の笑顔や愛想づいた言葉を言っても、それは意味がないのです。やはり私達の「心」次第です。

今のような世の中の状況でも、教えを強く信じて、どうしたら人に素晴らしい言葉、素晴らしい笑顔を向けられるのかを絶えず思う事、それが菩提心を育んでいくのです。

皆さんにお伝えしたい事は、菩提心によって、菩提心が起こるということ。

例えば、日蓮さまが信者さんに対して書かれたお手紙の文章の奥には、日蓮さまの深く温かいお心があります。

ですからそのお手紙を頂いて読まれた信者さんは、すぐに菩提心が起きたのです。

会主さまも大導師さまも女先生も同じお心でした。

菩提心を持っている方がお言葉を発し、お顔を向けて下さるので私達も菩提心が起きてくるのです。

私達が疑ったり怨んだりしますと、相手には鬼の心ができてしまいます。

私達が先に菩提心をもつと、相手も菩提心をもつのです。お導きも、菩提心を持った方が教えを伝えていくと、導かれた方も菩提心を持つ様になり、今度はその方がお導きをして相手に菩提心を起こさせるのです。

これが妙智會のお導きです。

お導きとは、まずは自分を変えてからさせて頂く事が大切です。ります。

そうする事により、懺悔が通り感謝も増えてくるのです。

まずは、菩提心を育む修行をして頂きたく、お願い致します。